

志教育の視点	☑かかわる ・ ☑もとめる ・ ☑はたす
--------	----------------------

活動名	「塩竈学」～塩竈まちづくり活性化プロジェクト～
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	第2学年 普通科
ねらい	地域から学び、地域の課題を解決しようと「活性化プラン」を策定する学びの過程を通して、生徒には考察力や表現力、他者との協調性やプレゼンテーション能力などの育成を図る。また、学びの結果として地域を大切に感じる感情が芽生え、地域からも本校生に対する信頼が醸成されることをねらいとする。

【実践内容】

今年度の探究活動は「グループ探究」の形で進めた。各生徒は11月の発表会に向けてテーマを設定し、iPadを利用し、レポートを作成しながら自分たちの考えを整理し、探究活動をおこなった。

- 「塩竈学」～塩竈市出前講座～(5/1)
 - 5校時：「塩竈の長期計画」講座を2学年全体で受講
 - 6校時：「財政」「子育て」「水産」「塩釜港」「水産」など9講座毎に受講
 - * 塩竈市教育委員会生涯学習課より講師を招いて、塩竈の歴史や課題を幅広く学ぶ機会を設定し、今後の探究活動の意識付けの機会とした。
- 総合的な探究の時間オリエンテーション(4/17)
 - * 11月まで継続する「塩竈プロジェクト」の説明と探究活動の流れを確認
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクト①②③(5/15 5/29 6/19)
 - * 出前講座を視聴して「塩竈学」に向けての探究活動のテーマ設定の準備を進めた。
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクト④「フィールドワークのすすめ」講演会(6/26)
 - * 宮城大学佐々木秀之准教授(外部プロジェクト委員)を招いての「フィールドワーク」講演会を実施
 - 探究を深めるためには、実際に街を歩き、人と会って話を聞くことが重要であり、フィールドワークに挑戦してみることを働きかけた。
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクト⑤⑥「フィールドワークに向けての準備」(7/3 7/10)
 - * 実際にフィールドワークを行うにあたり、「場所」「調べる内容」「聞く内容」などを計画した。
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクト⑦⑧「フィールドワーク」(7/17) 2時間扱い
 - * 昨年度、プロジェクト委員よりアドバイスを受け、今年度より実施した。魚市場、塩竈神社、保育所、浦戸諸島、市商店街などに各班ごとに出向き、直接テーマについて触れ、考えた。
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクト⑩「調べ学習から探究へ」講演会(9/11)
 - * リクルートより講師を招き、体育館でワークショップを開催し、知り得た情報や考えをまとめるための手法を学び、発表会に向けたスライド作成の基礎固めをおこなった。
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクト⑨⑪⑫⑬⑭⑮⑯(9/17～11/6)
 - * 各グループで探究活動の整理と発表スライドの作成および各クラスでの発表会(代表選考)を実施した。
- 「塩竈まちづくり活性化プロジェクト」発表会(11/13)
 - * 各クラスより2グループ選出し、代表12グループが、普通科1年・2年の生徒・外部プロジェクト委員および教職員総勢500名に対して探究活動のグループ発表を以下のテーマでおこなった。
 - 『高齢者の健康と生活』『水揚げ量を上げよう』『藻塩』『塩釜港の漁獲量について』『塩竈市の食文化について』『塩竈市の財政』『高齢者が安定して暮らせる町』『税金を使って塩竈をよりよくするために？』『子供』『塩竈市の保育園・幼稚園を増やすには？』『塩竈市の水産について』『塩釜の文化財について』
- 塩竈まちづくり活性化プロジェクトのまとめ作業①②(11/27 12/4)